

大崎上島町 社協だより

No. 231

2022(令和4)年7月発行

〒725-0401 広島県豊田郡大崎上島町木江5-9
社会福祉法人 大崎上島町社会福祉協議会 (TEL 0846-62-1718)
ホームページ <http://www.syakyo.net/>



令和4年度

社会福祉協議会 会員会費のお願い

平素は、社会福祉協議会事業推進につきまして、格別なご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、今年度も「社会福祉協議会 会員会費」のお願いの時期となりました。

「島だからこそできる 家族のような互遊助どうしの支え合い」を目指し、
心のくらしのしあわせを感じられる地域づくりに取り組んで参ります。

ぜひ、主旨をご理解賜りご支援、ご協力をお願いいたします。



社協会員会費のお願いを
7月19日(火)から
8月31日(水)の間で
させていただきます。

社協会費 協力依頼額

一般会費(一口) 1,000円
賛助会費(一口) 3,000円以上



令和3年度に皆さまから寄せられた社協会費
(3,822,000円)で、次の事業を実施しました。

- ・ふれあいサロン(町内26か所で年間170回開催)に673,000円
- ・社協ふれあいサービス(閉じこもり予防を目的にデイサービスを週3日開催延1,566名利用)、夢ハウス(認知症高齢者の小規模ケア事業延228名利用)や、よってみんなさい屋中野・大串(小地域型サロン・年91回開催)の一部に489,000円
- ・ふくしのまちづくりのつどい(11月3日開催)、小地域福祉活動推進事業(地域リーダー研修会等)、赤い羽根ボランティアスクール(住民の障がいに対する理解を深めるために開催)の一部に221,000円
- ・電動ベッドや車いす等福祉用具の貸出(年間100回)や、車いすを乗せる車の貸出(年間119回)の維持費や購入費、広報活動(社協だよりを年間12回発行)等の一部に2,439,000円



令和3年度 大崎上島町社会福祉協議会



事業報告



【法人運営部門】

- 保健福祉センター管理受託事業（東野保健福祉センター、木江保健福祉センター）
- 第3次地域福祉活動計画進捗管理及び第4次地域福祉活動計画の策定
- 県立広島大学との連携（地域の高齢者やケアマネなどの専門職へのインタビュー実施等）

【地域福祉活動推進部門】

○小地域福祉活動推進事業

※新型コロナウイルス感染症拡大により開催できず

○ボランティア活動や住民活動の推進・支援

- ・サロン協力員連絡会（参加者数 25 名）

○生活支援体制整備事業

- ・支え合う地域づくり協議体委員会（年1回）

新たにIらんど、ヘルパーステーション Bee-Hive が加わる

○ふれあいサロン事業（26カ所で170回開催 延参加者数 2,123名）

○よってみんなさい屋中野・大串（開催回数 91回 延利用者数 1,020名）

○かみじまネット事業（協力員登録者 74名 延利用者数 114名）

○広報活動 社協だより月1回発行 ホームページ更新

○第10回大崎上島町ふくしのまちづくりのつどい

令和3年11月3日（水） 大崎上島文化センターホール神峰（参加者数 108名）

○福祉協力指定事業（保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の8校を指定）

○老人クラブの育成援助

大崎上島町老人クラブ連合会事務局

- ・グラウンド・ゴルフ大会 令和3年12月8日（水） シーパーク大串 参加人数：90名

- ・大崎地区地域活動（平和塔清掃活動 延168名）

※その他活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

○障害者団体の育成援助

- ・大崎上島町身体障害者福祉協議会事務局
- ・わかばの会活動支援（過疎・離島における多様な発達を支援するプログラム支援）
- ・赤い羽根ボランティアスクール（延参加者数 42名）

○大崎上島町遺族会事務局

○日本赤十字社広島県支部大崎上島町分区事務局

活動資金実績額 1,517,000円（募集期間 6月1日～7月31日）

○大崎上島町共同募金委員会事務局

共同募金実績額 2,623,850円（募集期間 10月1日～3月31日）

○大崎上島町地域包括支援センターの受託経営



オンラインでの赤い羽根ボランティアスクール



よってみんなさいや大串にて
円山先生 180回記念講演



老人クラブ連合会グラウンド
ゴルフ大会の様子

【地域包括支援センター部門】

- ・地域包括支援ネットワーク会議（開催回数 3 回）
- ・地域ケア会議（開催回数 4 回）
- ・介護予防学習会（開催回数 2 回 参加者数 20 名）
- ・いきいき百歳体操教室開催継続支援（開催回数 30 回）
- ・認知症の人と家族の会（開催回数 9 回 参加者数 141 名）
- ・認知症初期集中支援チーム員会議（開催回数 3 回）
- ・認知症サポーター養成講座（開催回数 7 回 参加者数 94 名）
- ・総合相談支援事業（延相談件数 1,526 件）
- ・介護予防サービス計画作成件数（延作成件数 811 件）
- ・介護予防ケアマネジメント件数（延作成件数 639 件）



認知症サポーター養成研修の様子



沖浦サロンでの介護予防学習会

【福祉サービス利用支援部門】

- 日常生活自立支援事業「かけはし」（新規利用 3 名 利用終了 2 名 延支援回数 927 回）
 - 生活福祉資金貸付事業（新型コロナ特例貸付）（貸付件数 19 件）
 - 高額療養費貸付事業（貸付件数 2 件）
 - 民生資金貸付事業（貸付件数 6 件）
 - 緊急用食料品等給付事業（給付件数 2 件）
 - 生活困窮者自立相談支援事業「くらしの相談支援室」（新規相談受付件数 10 件、延支援回数 160 回）
- 大崎上島町生活サポートセンターIらんどとの合同相談会の実施



ふれあいサービスで神峰山へ

【在宅福祉活動推進部門】

- 大崎上島町社協居宅介護支援事業所
 - ・居宅介護支援計画作成事業（延作成件数 658 件）
 - ・要介護認定調査受託（調査件数 69 件）
- 社協ふれあいサービス事業（延利用者数 1,566 名）
- 生野島出前ミニデイ事業（18 回開催 延利用者数 52 名）
- 夢ハウス事業〈認知症高齢者コミュニティケア〉（67 日開催 延利用者数 228 名）
- 外出支援サービス事業（町内 1,632 回、町外 434 回）
- 高齢者巡回相談員派遣事業（訪問実績 ひとり暮らし高齢者世帯 22,188 回 その他高齢者世帯等 12,992 回）
- 区長・民生委員・高齢者巡回相談員合同研修会（3 会場）
- 介護予防事業 健康体操教室およびストレッチ教室（延回数 78 回 参加者延人数 1543 名）
- 健康および生きがい活動事業（2 教室 延 32 回開催 延利用者数 164 名）
- 福祉機器貸出事業（15 品目 延貸出数 219 回）



三者合同研修会（大崎）の様子





令和3年度 決算内訳表



No.	部 門	金 額
1	会費収入	3,822,000
2	寄付金収入	4,140,500
3	補助金収入	28,945,315
4	共同募金配分金収入	2,858,653
5	受託金収入	40,570,607
6	貸付事業収入	461,100
7	事業収入(利用料収入)	4,114,190
8	介護保険収入	15,663,130
9	基金受取利息配当金収入	3,378
10	受取利息配当金収入	475
11	その他の収入	53,380
12	基金積立資産取崩収入	0
13	拠点区分間繰入金収入	3,500,000
14	サービス区分間繰入金収入	4,639,000
15	前期末支払資金残高 (前年度繰越金)	27,910,476
収入合計		136,682,204

No.	部 門	金 額
1	法人運営事業	38,906,604
2	ふれあいサロン事業	673,646
3	生野島出前ミニデイ事業	339,326
4	木江保健福祉センター受託事業	3,540,353
5	東野保健福祉センター受託事業	1,361,222
6	小地域福祉活動推進事業	106,713
7	生活支援体制整備事業	3,238,570
8	ふくしのまちづくりのつどい事業	194,593
9	高齢者巡回相談員派遣事業	2,540,799
10	福祉機器貸出事業	92,032
11	社協ふれあいサービス事業	2,666,866
12	外出支援サービス事業	5,063,461
13	災害見舞金支給事業	3,278
14	権利擁護事業	1,889,598
15	生活福祉資金貸付事業事務費 委託事業	231,950
16	生活困窮者自立支援事業	6,316,268
17	被災者生活サポートホラネット事業	60,000
18	居宅介護支援事業	7,857,832
19	地域包括支援センター事業	23,738,069
20	総合健康増進事業	285,000
21	福祉協力指定校事業	300,000
22	V保険・介護者家族会支援事業	143,000
23	夢ハウス・よってみんなさい屋事業	1,900,853
24	かみじまネット事業	372,400
25	赤い羽根ボランティアスクール事業	210,000
26	高額療養費貸付事業	385,656
27	民生資金貸付事業	210,000
28	福祉基金事業(地域福祉振興基金)	2,198
29	財政調整基金	1,171
30	当期末支払資金残高(次年度繰越金)	34,050,746
支出合計		136,682,204

《 次年度繰越金内訳 》

法人本部会計	18,557,266 円
高額療養費会計	2,979,782 円
民生資金会計	3,292,628 円
財政調整資金	4,541,070 円
財政調整基金(定期預金)	4,680,000 円
合 計	34,050,746 円

大須上島町社協イメージキャラクター



経営報告

このように社会福祉協議会では、地域福祉事業を実施するにあたり、町の委託金・補助金だけではなく、皆様から寄せられた会費や共同募金会からの助成金、また寄付金を積み立てた福祉基金等の財源により、コロナ禍ではありますが、令和3年度も事業を実施することができました。ありがとうございました。

自助

互助

共助

公助

島の地域共生社会の実現に向けた社協の
取り組みと、関係団体の取り組みを共有する

小地域福祉活動推進会議



6月15日、木江保健福祉センターにおいて小地域福祉活動推進会議を行いました。昨年度新型コロナウイルス感染症により開催ができなかったため、2年ぶりの開催となりました。この会議は、町内の福祉に携わる団体で構成されており、本会の活動を知っていただく場、各団体の活動を共有し展開する場、顔の見える関係づくりの場として年1回開催しています。今回は、今までどういった内容を協議していたかを振り返り、コロナ禍における各団体の取り組みや、「この団体のこの活動が知りたい」をアンケートで事前に集約し、相互の理解を深めるとともに、共同でできることを模索しました。



協議する中で、さっそく認知症理解を深めるための認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターと行政福祉課で、金融懇談会（広島銀行）の職員を対象として実施することが挙げられ、顔の見える連携がつながりました。

これからも社協は小地域での活動を工夫しながら、誰もが安心して住み続けることができるまちづくりを目指して、各団体の取り組みを把握するとともに、顔の見える関係づくりを続けていきます。



よってみんなさいや×高校生 世代間交流会



6月28日、大崎産業会館で大崎海星高校の生徒とよってみんなさいや中野の参加者20名が集まり交流会が開催され、みんなで自己紹介を行った後、「モルック」というフィンランド発祥のスポーツを行いました。

この企画は、大崎海星高校の生徒が地域とのつながりを作るために企画立案し、コロナ禍でもみんながつながり、楽しみを持った生活を送ってほしいとの願いで開催されました。これからも社協はつながりづくりを大切にしていきたいと思ひます。



企画者である大崎海星高校3年の長尾実輝さん。自ら動き、社協と準備を進め、当日は司会進行を頑張っていました！キラキラと輝いていましたヨ！

6月10日、第20回 身体障害者福祉協議会総会が集合型では3年ぶりに東野文化センターで開催されました。約30人が出席し、式典・前年度の事業/決算報告と今年度の事業計画/予算案について審議され、承認頂きました。

研修会として、福祉課課長 川野 義彦 様より「大崎上島町障害者福祉計画」を前計画からの変更点に加えて、大崎上島町役場の取組みや各事業所に求められる対応について分かり易くお話いただきました。最後に、参加記念品を出席者にお渡しして無事に閉会致しました。



福祉課 川野課長



一昨年、昨年とコロナ禍による活動自粛が続きましたが、今年は感染対策をしつつも行動制限が緩和され、マスクの着用基準も見直されています。会費を払うだけにならないように、少しずつできる活動を再開していくことが大事です。

会員増強を図り、会員同士の絆を深め、身体障がい者の福祉充実と社会参加促進のために福祉課とも連携して、各種事業に取り組んでいきます！



赤い羽根Tシャツ募金に協力して、カーブを応援しよう！！

広島県共同募金会にて、今年も広島東洋カーブとのコラボTシャツが作成されました。Tシャツの売り上げの一部が、赤い羽根共同募金として、私たちの町を良くする活動に使われます。

大崎上島町共同募金委員会では、**7月29日(金)までにTシャツ募金(1枚2,600円)にご協力いただいた大崎上島町在住の方の中から抽選で、9月18日(日)開催「赤い羽根×カーブコラボゲーム2022」対中日戦(外野ライト側指定席)**へ、ペアでご招待いたします。ご協力いただける方は、大崎上島町社会福祉協議会本所、各支所に申込書をご用意しておりますので、直接お越しください。

お問い合わせは、社協本所 ☎62-1718
(担当：藤原まで)

老連主催の夏のクラウンゴルフ大会が6月29日に3年ぶりに行われ、参加者102名が24ホールでスコアを競いました。梅雨が明け暑い日でしたが、プレー中以外はマスクの着用を促し、熱中症にも注意しての開催でしたが、体調不良の人もおられず最後まで皆様元気にプレーされ、地域の仲間と心地よい汗を流し、競い合いと交流を楽しみました。

今大会では個人の部は上位10名に個人賞を授与し、参加賞やホールインワン賞を用意するなど、3年ぶりの大会を盛り上げるために新しい試みを行いました。参加者は「ナイスショット」「あー、惜しかった」と一打に一喜一憂しながらも「やっぱり、運動するのはええね〜♪」と和気あいあいと楽しい日常生活が徐々に戻ってきたような雰囲気でした。健康とスポーツの素晴らしさ、今までの生活とコミュニケーションの大切さを改めて感じた大会でした。



団体優勝：原田長寿会 A (341打)



個人優勝：岡田健治さん
【向山長寿会】(52打)

楽しく無事に大会を終えることができ、ホッとしています。来賓の皆様ありがとうございました。参加者・大会協力員の皆さん、暑い中お疲れ様でした!!

今年はコロナ禍でもできる限り活動を再開し、会員交流を活性化したいと思います！



くらしの相談支援室

大崎上島町社会福祉協議会では、介護、仕事、生活において様々なお困りごとがある方の相談窓口として

「くらしの相談支援室」を設置しています。

ご家族や支援者からの相談もお受けできますので、いつでもお気軽にご相談ください。



働きたいけど
仕事ができるか不安



家計のやりくりが
上手くできない

(代表) ☎0846-62-1718

(直通) ☎080-6345-7951

受付時間：月曜～金曜(祝日除く)8:30～17:00

(担当：塩飽・井上まで)

認知症と上手に付き合っていくために④

●認知症の診断・治療

認知症の診断は初期ほど難しく、熟練した技術と高度な検査機器を要する検査が必要となります。認知症の早期の発見、早期の受診・診断、早期治療はその後の認知症の人の生活を左右する非常に重要なことです。認知症が疑われる場合は専門の医療機関を受診し検査してもらいましょう。

●認知症の人への対応の心得

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない



認知症の人への対応には、認知症に伴う認知機能低下があることを正しく理解していることが必要です。そして、偏見をもたず、認知症は自分たちの問題であるという認識をもち、認知症の人を支援するという姿勢が重要になります。

認知症の人だからといって、つきあいを基本的には変える必要はありませんが、認知症の人には認知症への正しい理解に基づく対応が必要になります。

記憶力や判断能力の衰えから、社会的ルールに反する行為などのトラブルが生じた場合には、家族と連絡をとり相手の尊厳を守りながら、事情を把握して冷静な対応策を探ります。

ふだんから住民同士が挨拶や声かけにつとめることも大切です。日常的にさりげない言葉がけをすることは、いざというときの的確な対応に役立つでしょう。

●かかわる人の心がまえ

「さりげなく自然に」が一番の支援



だれでも自分や家族が認知症になる可能性があります。

健康な人の心情がさまざまであるのと同じように、認知症の人の心情もさまざまです。「認知症の人」がいるのではなく、その人が認知症という病気になっただけです。私たちがすべきことは、認知症の障害を補いながら、さりげなく、自然に、それが一番の支援です。

参考：[認知症サポーター養成講座標準教材] 認知症を学び 地域で支えよう
発行 NPO 法人地域ケア政策ネットワーク

《相談窓口・問い合わせ》大崎上島町地域包括支援センター ☎67-0022

大崎上島町木江5-9 (木江保健福祉センター内)

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいたご寄付は、福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

【令和4年6月11日～令和4年7月8日お申し出分】

【生前のお礼】

- ・原田 谷本 弘志 様 (故母 貞子 様)
- ・中野 森重 武己 様 (故母 澄子 様)
- ・木江 高橋 奈美 様 (故母 川上幸羽様)
- ・中野 徳森 隆 様 (故妻 たか子様)

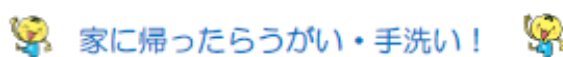


【香典返し】

- ・中野 吉本 君範 様 (故母 キクエ様)
- ・沖浦 上利 清敏 様 (故父 正治 様)
- ・京都府 菅原 和夫 様 (故父 一人 様)

【一般寄付】

- ・原田 樽本 孝博 様
- ・沖浦 朝山 裕児 様 (チャイルドシート借用のお礼)



社協からのお知らせ



在宅介護者家族会

～ 8月リフレッシュ交流会のご案内 ～



日時：8月5日(金) 10:00～17:00

行き先：世羅高原農場(世羅郡別迫1124-11)

対象者：在宅で介護されている方、もしくは介護されていた方

参加費：3,000円(昼食費+交流お茶会費)

申込み：7月25日(月)までに社協居宅介護支援事業所(☎62-1255)

社協本所(☎62-1718) (担当：泉まで)

詳細は回覧を
ご覧ください



認知症の人と家族の会

～ 8月定例会のご案内 ～



日時：8月26日(金) 9:30～11:30

場所：オレンジハウス

対象者：認知症状がある方、在宅で介護されている方



日本赤十字社 大崎上島町分区よりお知らせ

令和4年度活動資金実績報告

今年度の活動資金募集運動では、皆様より1,482,000円のご協力をいただきました。
お寄せいただいた活動資金は、災害救護・講習普及・医療や血液事業を通して、人間の生命と健康を守る活動に役立てられています。
ご協力ありがとうございました。

令和4年3月福島県沖地震災害義援金実績報告

令和4年4月より募集いたしました令和4年3月福島県沖地震義援金について、91,648円のご協力をいただきました。
お寄せいただいた義援金は、全額日本赤十字社広島県支部へ送金し被災地の復興に役立てられています。ご協力ありがとうございました。